

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	防火水槽事業			
予算科目	9 款 1 項 3 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課:	防災安全課	電話番号(内線):	982-0657
記入者情報	所属長:	新田 亮仙	担当責任者:	水口 盛文
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	一般市民			
根拠法令等	消防法第20条第1項、消防水利の基準			
事業の目的	消防署所、消防団が消火活動を行うための消火栓、防火水槽の維持管理及び整			
事業の内容	消火栓、防火水槽の修繕及び新設			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	消火栓の設置にあっては、消防水利の基準に適合するよう40t級の設置に努め、中山間部の水利状況が悪い場所に防火水槽を設置することで火災防御の戦術も見直しができる。			
改善策の 具体的 取り組み	市内全域の消防水利の点検及び清掃を5月に消防団員が実施し、不備があれば職員が現場確認を行い修繕を行う。また、職員が10月にも消防水利の点検及び清掃を行う。放水設備を推進し、被害の軽減を図る。			

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	9,841	9,558	525	7,777
	人件費	7,599	7,728	7,728	7,728
	合計	0	17,286	8,253	15,505
人件費 内訳	人工数	0.95	0.95	0.95	0.95
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	7,599	7,728	7,728	7,728
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	17,440	17,286	8,253	15,505

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
消防水利維持	基	957	958	958	959
防火水槽・消火栓の修繕	基	12	1	1	5
消火栓・防火水槽新設	基	1	3	1	3
放水設備設置	箇所	3	6	2	2

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	4,098	9,558	4,098	9,558	4,098	31,410

成果指標				
成果指標	消防署から遠隔地に放水設備を設置する。放水設備から有効に消火することができる建築物が10棟以上とする。(目標) 6箇所 (実績) 2箇所			
指標設定の考え方	火災発生時に初期消火を行うことで被害を最小限に収めるため、放水設備を設置することで、住みよいまちづくりが構築されている。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標24年度
目標	0	100%	0	0
実績	0	33%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	中山・双海地域にあつては、山間部の地域が多数あり、以前から放水設備が設けられているため、老朽化が進み更新時期に該当するので、消防団員等に助成事業を推進し、維持管理に努めるよう依頼する。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	消火栓や防火水槽の新設に当たっては、受益戸数や設置場所などを慎重に審査しており、引き続き費用対効果の向上に努める。指定消防水利以外の消火栓の修繕について作業負荷の軽減に向けた方策を検討する必要がある。消防団による水利点検の結果報告が活かされていないとの声も聞かれるので、実効性のある点検作業となるよう検証する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題